



第 22 号  
2022. 3. 15

# シニアの学び舎

レイカディア大学だより 米原校

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています。

## 愛知川河畔林の愛林活動



昨年末の 12 月 13 日、地域活動プロジェクトの最大の事業「愛知川河畔林の愛林活動」を行いました。当日は在學生・サポートの会・河畔林の会の皆様など、総勢 80 名近くが参加され、荒天の中でしたが晴れ間を縫って竹林の整備・門松クラフトに熱心に取り組んでいただきました。

今回、作業後のお楽しみのミニ門松づくりは、その材料調達に意外と多くのエネルギーを要しました。ミニ葉ボタンの育成や細竹の斜め切り、竹の器やクロガネモチ等、各素材の準備をお願いした役員やプロジェクトの皆様方の熱意とご協力に心より感謝申し上げます。改めてレイ大パワーの力強さと前向きな取り組みに感動いたしました。今後も在學生とサポートの会・地域の方々をつなぐ活動を大切に進めていきたいと願っています。

地域活動プロジェクトリーダー 川嶋佳代子

### レイカディア大学米原校 サポートの会 第 9 期代表 寺嶋作雄

#### 「サポートの会活動を振り返って」

サポートの会第 9 期の活動はコロナ禍での学生募集の中止と北近江文化学科の休講に伴い、2 学科 33 名の在學生を支える活動でスタートいたしました。

コロナ禍で一部延期や中止もありましたが、在學生とサポート会員の交流行事を計画し、多数の在學生の皆様と共にご活動ができました。

また、会員や同窓会の皆さまには大学の紹介展をはじめ学生募集にご尽力を賜り、おかげさまで多数の応募に繋がり 3 学科が開講できることとなりました。

更に、今期初めて卒業生 3 期全員の方々に地域貢献活動に関するアンケートを実施いたしました。今回の報告が皆さまの活動の一助となれば幸いです。

第 9 期の活動もあとわずかとなりました。皆さまのご支援ご協力に感謝申し上げますとともに、新キャンパスへの移転という未来創りへむけて、次期の活動に皆さまのご支援をお願い申し上げます。



# 卒業生の地域貢献活動の状況について

## ～第1回 アンケート調査のまとめ～

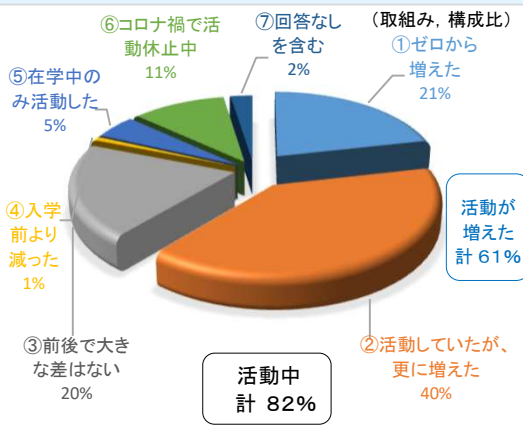
地域活動プロジェクト アンケート委員会

～ダイジェスト版の報告です。詳細版はサポートの会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。～

- ・ アンケート調査対象者：レイカディア大学米原校 39期・40期・41期全学科卒業生全員
- ・ 調査の対象となる期間：令和2年10月から令和3年9月までの期間における活動

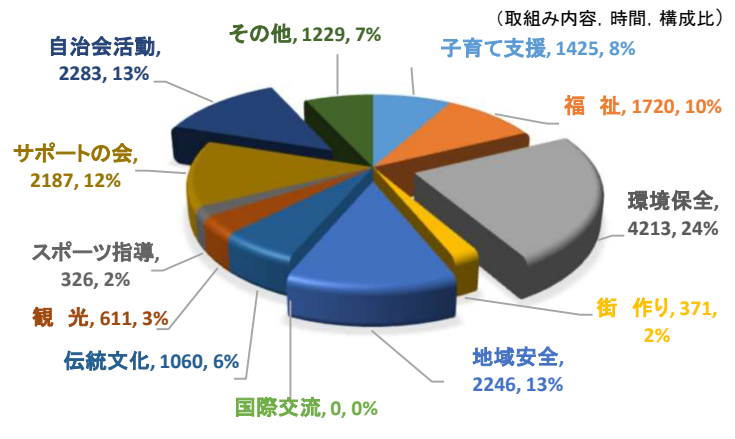


### 1. 入学前と比べて今の取組み状況は？



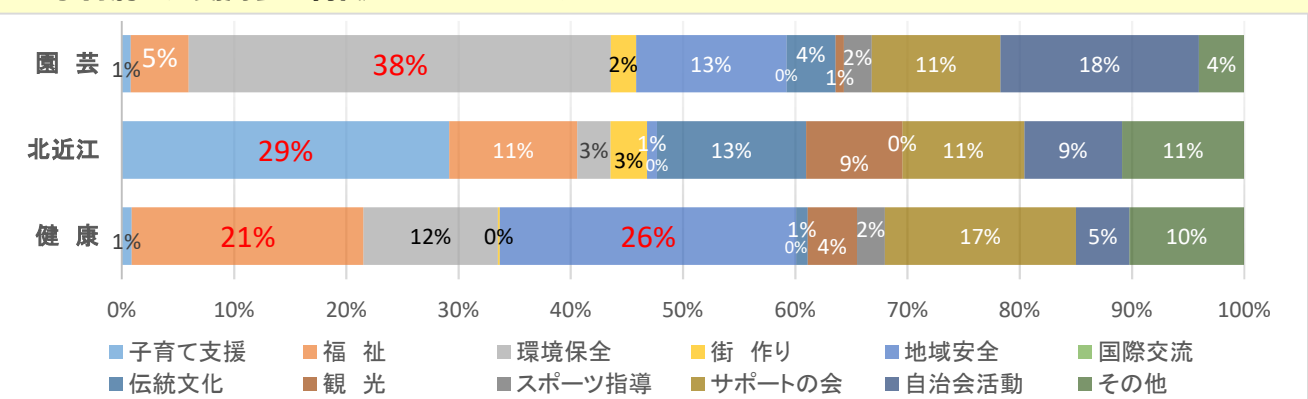
・61%の方が入学前より活動が増えており、コロナ禍なれど82%が活動中です。

### 2. 地域貢献活動の取組み内容は？



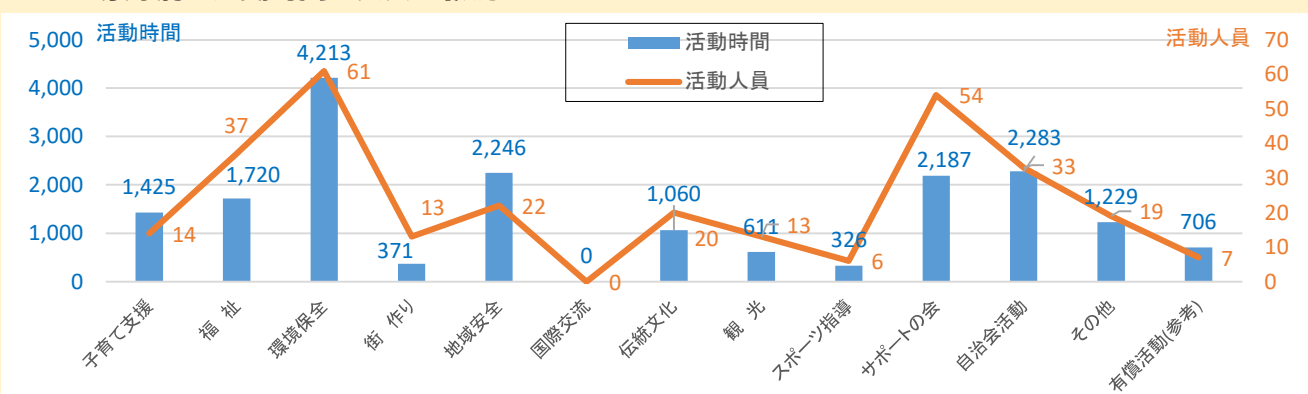
・109名が年間6,998回、17,671時間の活動をしています。  
・環境保全、地域安全、自治会活動のベスト3で50%を占める。

### 3. 学科別の活動内容の特徴はいかがでしょうか？



・園芸は環境保全、北近江は子育て支援、健康は地域安全と福祉を主に多くの方が活動されています。  
・自治会活動や伝統文化(神社、仏閣護持)は、地域の指導者として学科を問わず活動されています。

### 4. 12分野別の活動時間と人員の状況はいかがでしょうか？



・1人当たり64回、162時間と多くの方が活動されています。平均すると5.7日毎に、2.5時間の活動です。  
・分野別では地域安全(通学見守り)、子育て支援は少人数ですが、1人当り活動時間は100時間超と多い。

# 「2021年・発表会」(11月17日～18日)

コロナ禍の影響が長引き、卒業予定の2年生は園芸学科と健康づくり学科の2学科で33名。1年生は北近江文化学科を加えた3学科あるというものの



10月に入学してまだひと月半ほどの期間で対応せざるを得ませんでした。入場は関係者のみに限定され、名称も大学祭ではなく「発表会」となりました。例年の賑わいを知る者にとっては気掛りな「2021年・発表会」



を2日間取材しました。今回、在学生のみならず卒業生(39期～41期)の協力作品やパネルも展示され、2日目のステージ演芸も豊富でした。また、大根・柿のプレゼントには行列が



大辻先生も来場

「どうしても大学祭イベントはやりたいと思っていたので卒業生やサポートの会に協力をお願いした(2年生)」「初体験だが、すごいと思った。先輩方の作品にかける意気込みを感じる。来年もこのイベントは絶対やりたい(1年生)」、また、協力した卒業生グループやサポートの会メンバーからは「お役に立てて良かった」「サポートしながら共に楽しめたのが嬉しい」との声。

できていました。会場で生の声を拾ってみました。



「どうしても大学祭イベントはやりたいと思っていたので卒業生やサポートの会に協力をお願いした(2年生)」「初体験だが、すごいと思った。先輩方の作品にかける意気込みを感じる。来年もこのイベントは絶対やりたい(1年生)」



また、協力した卒業生グループやサポートの会メンバーからは「お役に立てて良かった」「サポートしながら共に楽しめたのが嬉しい」との声。

“ともに学ばん、ともに遊ばん、ともに生きた”校歌の歌詞そのものの発表会でした。



発表会最後の締めくくりはプレゼント

## サポートの会活動

### ◆「雨森芳洲庵・樹木剪定実習」 12月3日 ～園芸学科部会～



実習は園芸学科2年生17名、サポートの会10名の参加で行われました。

雨森芳洲庵は巨木・名木を訪ねる現地実習で訪れてはいますが、剪定実習は今年度初めて実施されました。講師の北村先生から「この庭園は比較的新しいが、背景の山並みを利用してしっかりと考えて作られており、湖北でも有数の立派な庭である。しかし、樹木が全体的に大きくなっているので灯籠を見せるなど元の庭に少しでも戻すことを考えて剪定するように」とアドバイスを受けました。サポートの会も含め班ごとに話し合いながら実習に取りかかりました。

北村先生による説明をされながらの梅の木の剪定指導もあり、在学生共々充実した剪定実習でした。最後に参加者全員に抹茶の振る舞いもしていただき、庭の紅葉とともに晩秋を実感した1日となりました。

### ◆「焼きサバ素麺調理実習」 11月24・26日 ～北近江文化学科部会～

北近江文化学科の「北近江の伝統食を味わおう」の講座は、学生により一層楽しく興味深い内容になるようにと、今期から新たに採択されたテーマの一つです。



43期は19名と人数が多いため、二日間に分かれての授業でした。午前中は、湖北町食事文化研究会代表の肥田文子氏による湖北の伝統食の一つ「焼きサバ素麺」の調理実習。午後は肥田嘉昭氏による湖北地方に伝わる伝統食の講義でした。皆さん和気あいあい、とても楽しくニコニコ笑顔の実習でした。

### ◆「地域サロン体験実習」 11月24日 ～健康づくり学科部会～

2年生10名は、コロナ禍でできない施設訪問に代え、サポートの会と43期1年生を入所者に見立て、手足準備体操・ペットボトルボウリング・びわ湖周回双六・歌遊びでサロン体験をしました。



# サポートの会活動

## ◆「びわこ地球市民の森」 ～園芸学科部会～

2月15日

39期～43期在  
学生までの36名  
が学科を超え3班  
に分かれ、間伐作  
業と原木へのシ  
イタケ菌うち体  
験をしました。初  
めて伐採の仕方を学んだ人も1時間後には“名人”に  
変身し、16年物の「里の森ゾーン」も瞬間に風通し  
がよくなりました。午後からは、原木へのシイタケ菌  
うち体験。参加者の誰もが興奮。ドリルでの穴開け、  
続いてシイタケ菌の駒うちと大忙し。午前・午後とも、  
夢中になって作業しているうちに、コロナストレスを



忘れ、木や森と触れ合う  
楽しさを体験していま  
した。未体験の人は次回  
の機会を見逃さず参加さ  
れることを強くおススメ  
いたします。

## ◆「健康レクリエーション交流会」 12月7日 ～健康づくり学科部会～

この交流会は、地域のサロンなどで応用できる手  
作りゲームを幾つか紹介し、そのゲームを皆で楽し  
さを味わっていただくとう開催したもので、42・43期  
の3学科29名の在学生と部会員12名は、楽しい交流  
の場を持ってました。アイスブレイキングの後、タオル  
体操で体をほぐし、紙テープでのグループ分けにより、  
6チーム対抗戦としました。

ゲームは、紙コップを投げ、新聞紙を渡り歩き、難  
解な頭の体操、新聞紙の輪を投げ、白黒オセロ板をめ  
くり、タオルを椅子に放りかけるなど多彩で、全員合  
唱と最後の江州音頭の踊りまで、とにかく全身と頭を  
使う活動は、やって楽しく見て面白い熱気あふれる交  
流会となりました。身近な材料で簡単にできる今回の



ゲームは、様々に  
展開できますので、  
地域のサロン状況  
に合わせてぜひ活  
用いただきたいも  
のです。

## ◆「健康・史跡ウォーク」 10月29日 ～北近江文化学科・健康づくり学科合同企画～

この日は、雲一つない秋晴れで、寒さは余り感じな  
いウォーキング日和でした。JR 能登川駅西口に集合  
した37期卒業生から43期新入生までの54名は、準  
備体操をして出発です。東近江市伊庭地区の水郷、史  
跡などは、北近江文化学科の先輩（東近江市観光協会  
所属）に案内していただきました。



能登川水車のある公園で昼食を済ませ、ウォーキン  
グの効用などを少し学んで、約9kmをひたすら歩け歩  
けの1日でした。参加された皆さんは、緊急事態宣言  
中は控えていた久しぶりの外出で爽やかな汗を流し、  
仲間との再会・交流で、鬱積していたストレスが少し  
は発散できたものと思われました。

## ◆「ホームページ講習会」11月30日、12月14日 ～広報・情報室～

ホームページ作成講習  
会は40期田井中さんを講  
師として開催されました。

42期と43期の各学科の  
情報委員が、広報・情報室  
メンバーのサポートのも  
と受講し、特に43期の皆  
さんはホームページ作成  
が初めてということもあり、積極的に取り組まれました。  
初日に基礎を習得し、2日目は各自が作成したも  
のを発表し、アップする作業まで学ばれました。



その成果もあ  
り、43期全学科の  
ホームページが立  
派に仕上がり公開  
されています。サ  
ポートの会のホー  
ムページ同様是非  
ご覧ください。



レイカディア大学だより米原校  
2022年3月15日第22号

発行：滋賀県レイカディア大学（☎ 0749-52-5110）  
米原校サポートの会（広報・情報室）

■ 米原市下多良2-137  
（県立文化産業交流会館内）

■ 米原校サポートの会ホームページ：  
<http://lacamaibara.com/support/index.html>



《編集後記》 この第22号では、サポートの会の活動  
にスポットをあてた特集にしました。特に地域活動プロ  
ジェクトによる「卒業生の地域貢献活動アンケート結果」  
の紹介は、卒業生の現況の地域での活動がわかり、広く皆  
様に興味をもっていただけたと思います。

今回の編集を担当して、コロナ禍でも、サポートの会の  
各部会がウイズコロナとしてしっかりと活動を続けてこ  
られたことに、感心しきりでした。